

定一部五錢 廣五錢十三 休日曜大祭 福島縣石城郡平町鐵道町十一
 印刷部 印刷所本社専屬 印刷所 本城郡平町鐵道町十一

發行編輯人 川崎文治

發行所 福島縣石城郡平町長崎町卅五番地
 常務 每日新聞社

刊夕日二十二月八

一册の代金で 御希望通りな 五册の雑誌が 自由に読める

平町長崎町三五 川崎文庫 (申込次第規則書進呈)

しるしはんでん 弊舗の萬言よりも 華客の一言にあり

手拭。風呂敷。消防被服。御子銀。一切

柏屋染物店 柏傳刺子部 平町材木町

常磐文藝

二重の心 岸本哲雄

死人の心に 反抗の舟は泳ぎ それでも 俺は只 見詰める

灰色の一端から 蠶く黒點は 俺の凡てを 肯定じやうとする それでも 白表の狂者は踊る

おゝ お前 殺してくれんな 併し..... 生かしてくれんな とばしてやれ 幻想の中へ

一九四八、三、一

洋食は 向上軒

平町車場新道通り (電話五二三番)

建築ペンキ塗 美術諸看板 硝子金銀文字 其他各種

大音堂 平町四丁目

に鶴屋

磐城平町 電話百四十番

カクニ石鹼 壹個金十錢

●最良の品質 ●最低の價格 弊店謹製

共保生命 民衆化せよ 生命保険

加入者 月掛保険 福音 營業案内は御一報 次第贈ります

共保生命保険株式會社 磐城代理店

加藤營業部 電話三五五番

本社は更らに 一步を進めた

社長 川崎文治

一社一人主義を標榜した 本紙が磐陽の一角に名乗りを擧げてから紙齢を數ふる事既に二百廿五號、其間予は一片の文筆労働者として公正機敏なる報導の使命を全ふすべく 責任の重きを 感じて飽きも 健闘し倦まず弛まず萬難を一撃の下に廢して其歩みを徐ろに進めたのであつた、幸ひにして事業の上は何等大なる蹉跌を來す事なく日を加へ號を重ねるに従つて

地方販賣部

相馬 中村町 同 原ノ町 同 双葉郡 浪江町 同 富岡町 石城郡 植田町

荒井 鐵工場 岡崎 清吉商店 染田 三平商店 島田 馬之助商店 高木 木バン

佐藤鐵工場 コルクス部

平町月見町 (電話三三三番)

好店 良價ヲ安ク賣ル

クースーリ

関内藥舖 藥劑師 関内 栄助 電話四〇番

町采 町長船 吉田眼科醫院

草花種子入荷

「秋時の草花種子が澤山入荷 致しましたから 是非御覽下さい」

横濱植木會社特撰 スキートビー、カーネーション、ペチニヤ、キンデラマフト、パンチー、フロックス、ゴテナヤ、キナツチフライ、其他數十種

一袋拾錢

丁目四町平 ヤトモツマ 部子種藝園 番四一二話電

益々堅實な基礎を固むるに至つた結果紙面甚だ小なりと雖も 平町を中心とした地方言論 機關としての眞價を認められ讀者諸君の御愛顧に酬ゆる境地に迄到達するを得たのである、而して本社は茲に本社處期の目的通り磐陽社活版所を本社専屬の印刷工場と定め本社の業務を擴大し

一般印刷物の 依頼に應じて 然も敏速に且つ廉價を以つて充分に貴需を満すべき設備を講ずるに至つた。是れ云ふ迄もなく本社の一進展

平町田町 電話三三三番 丸登株式会社 川添房二郎

平町田町 電話三三三番

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

式賣買中值

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇、〇	五三、五
平銀行	五〇、〇	六八、〇
磐越銀行	一一、五	一〇、五
磐城實業	五〇、〇	四〇、〇
磐城實業	三〇、〇	二七、〇
田村實業	一一、五	一一、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二四、五
同 新	一五、〇	一八、八
百七銀行	五〇、〇	五五、〇
同 新	一一、五	一六、〇
七七銀行	一一、五	九、八
郡山電氣	五〇、〇	三七、五
同 新	二五、〇	一七、五
只見川電	一一、五	七、〇
植田水電	一一、五	一五、五
好問水電	一一、五	一三、〇
磐城建物	一一、五	五、〇
磐城製菓	二〇、〇	四、〇
平信託	五〇、〇	二五、〇
磐城勸業	一一、五	一三、五
植田物産	三〇、〇	二六、〇
平製氷	二五、〇	二〇、〇
好問軌道	五〇、〇	三〇、〇
入山新	三三、五	一七、〇
小田炭礦	二五、〇	五、〇
磐城炭礦	五〇、〇	四一、〇
同 新	二二、五	一八、〇
磐城セメン	五〇、〇	六四、五
同 新	三三、〇	四、三
平運送	一一、五	八、〇

を示すものである。蓋し難事業中の難事業と目される新聞事業に對し微力以つて經營の衝に當り 從來本紙の印刷を委嘱して 居た一〇活版所には一厘一毛の借財をも残す處なく更に歩を進めて専屬の工場をも求むる事が出来たのは是即ち讀者諸君が常に甚大な後援を本紙の發達に注がれた賜であつて、實に感謝に耐えぬ次第である、今後も予は本紙を通じて諸君の御厚情に添はんが爲め十二分の活動を惜まぬ積りであるが故に何卒御聲援あらん事を切望する。

諸君... 試みに

今夜の空を仰ぎ見よ

地球からは信號を

今晩は火星が久し振りにわが地球に最も接近する時である。火星には非常に高級的な知的進歩を遂げて居る人類に似たものか、存在して居るであらうとは天文學者始め多くの

科學者

が現に久しく想像して居る處である。今から五六年前の事であつた伊太利の大科學者マルコニイ氏が地中海をヨットに乗つて走つて居た時に其ヨットの無線電信へ、非常に強度な電波を感じた、其電波は地球上に於て吾人が

今迄に

起した約二倍の強さであつた、是は豫めて地球へ通信しようとして居ると云はれて居る火星からの電氣通信であるとマルコニイ氏は發表した、其處で今夜火星が近づくとを好機としてわが地球からも信號を發やうと世界の科學者達が研究中であつた代表的な

信號を

紹介すれば約五十萬億燭光の大探照燈を以つて光線を送る事と雪のアルプスへ約半哩平方の大鏡を据へ付けて太陽の光線を反射せよとする事である、夫れから無線電信を應用した強力な光波を送る事等も案出されてゐる、何れにもせよ果して火星の

常磐片々

今夜火星が地球を訪問

海外發展ドコロか空外發展を企圖して火星へ移民を奨勵する時代が来るかも知れぬ

ダカラ心配御無用、ドシンドシ生め生め

彦三郎の暑中劇 踊る者より見る方が汗ダラ

お陰で洗濯石鹸の賣れ行き飛ぶが如しと

通信が 成功したと

なれば天文學上に驚異的な一新事實を生み出す事になるのであるから、せめて我々は戸外に出でて大いに觀迎の意を表して然るべきであらう。

欣淨寺住職が

教會堂建設

目下奔走中

平町欣淨寺住職加藤隆端師は同寺境内に一千名を收容し得る公會堂式の磐城教會堂を建設の計劃を立て奔走中で有力家が賛同して居るから案外速かに實現するかも知れない、竣成后には幼稚園、青年夜學校、日曜學校、少年會、處女會、其他有益な會合に提供すると

町村長廿六名

翁島へ奉伺

廿五日に出發

石城郡町村長廿六名は廿五日午前九時平驛翁島に兩殿下の御機嫌を奉伺すものと

高野得助氏が

小頭に昇進

昨日辭令を

平消防小頭山崎清三氏は今回家事上の都合に依つて辭職せる爲め、伍長高野得助氏が昇進して昨日小頭に任

凌き良いが

養蠶に困る

充分な保温を

石城郡に於ける秋蠶は目下三回眠中であるが今年霜害で失敗して春蠶の損失を一氣で取返そうといふ意氣込で一般に方を注いだ結果各地共經過は良好であつたが、數日來急激の氣温低下で養蠶家の憂慮一方でなく極力對抗策に全力を注いで居るが郡内某業者の語る處に依れば今頃急に此んな冷氣の來たのは初めてで養蠶上に影響する事はいふ迄もなく往々にして病蠶を出す恐れがあるから、養蠶家

命された、因に高野小頭は平驛前高野自轉車店主であつて多年同消防組員とし功勞多く内外よりの信用頗る篤き爲め屢々小頭に擬せられた事あり今回此昇進を見たのは寧ろ其機嫌の速かつた觀がある

客が俄に減て

浴場に秋風

掛茶屋の失望

石城各濱の海水浴場は四五日來の冷氣にめつきり浴客の數を減じ、掛茶屋等は青

江名濱の鯉節御買上

二百本入一樽を

石城郡江名町にては翁島御滞在中の兩殿下に鯉節を献じたが更に宮内省から節二百本入樽を御買上になつたので精選中であるが廿五日迄に納附せよとの事に同漁民一同感激し加澤一造及び、中田房五郎の兩氏携帶する筈

暴漢が收監 少女凌辱犯人石城郡好間村農吉田繁(○)は去る廿日午前九時

カテイラン

小兒の回虫

世間の親さん方で子供に回蟲がわいてゐることが左程氣にしませんで、セメン一服のませれば直ぐ治つて終ふと存外平氣で居る方もありますが、彼の條蟲や十二

漸く枯死を免る

礦毒を除去し

窪田村の稻田

石城郡窪田村に於て勿來炭礦々内よりの廢水を水田に灌漑した爲め含有せる有毒物の爲めに十二町歩は危く枯死せんとしたが其後郡史員出張種々對策を講じた結果昨今や回復せるを以て生熟は幾分遅るも全々稲作に不能に陥るが如き事はあるまいといふ

不況な鯉魚を

秋刀魚で挽回

石城郡沿海の鯉魚は終期に近づいてゐるが豫期した程の豐漁を見る事が出来ないので當業者は頭を悩ましてゐる、漁期九月未迄で昨今の漁況の状態から見ると豐漁は望まれそうもない、現在各濱の鯉魚獲高は五十餘

明大野球團

磐炭と對戦

明治大學野球團一行廿餘名來平廿五日午後二時から磐炭新グラウンドにて磐炭チームと對戦する筈だが入場料は卅錢と廿錢

そんな位であるから胃の方へ這つて行つたり、所々に微菌を置きさりにして、そこへ病氣を起させるのであります、それですから回蟲があつたら醫師に驅虫劑の投藥のセメンもあるか確効は望めません、大人にしても子供にしても併々大便の検査を求めする必要があります

急行列車の

食堂で亂暴

平署に引渡す

双葉郡幾世村 掃部廣恵(三)相馬郡原ノ町 鈴木三郎(三)の兩名は去る廿日上り急行列車が平驛に着する頃食堂内に於て泥酔し亂暴せる爲め降車せしめ平署に引渡した

平町人事

出生 鶴山安美二男三男
死亡 鈴木留雄(五) 矢内ヒサ(六)

磐炭特設電話

石城郡内郷村磐城炭礦にては今回左記特設電話を設置した

△湯本特設一番 宮嶺業

は注意する事が肝要である、此分で冷氣が續きながら降雨でもあれば大變な事になる此場合の飼育は朝夕に適温即ち七十五度位の温度を保たせむべく保温設備をなす特別に冷氣にあはしめない様に注意せねばならぬ

息をついて居る

窪田村の稻田

漸く枯死を免る

礦毒を除去し

石城郡窪田村に於て勿來炭礦々内よりの廢水を水田に灌漑した爲め含有せる有毒物の爲めに十二町歩は危く枯死せんとしたが其後郡史員出張種々對策を講じた結果昨今や回復せるを以て生熟は幾分遅るも全々稲作に不能に陥るが如き事はあるまいといふ

不況な鯉魚を

秋刀魚で挽回

石城郡沿海の鯉魚は終期に近づいてゐるが豫期した程の豐漁を見る事が出来ないので當業者は頭を悩ましてゐる、漁期九月未迄で昨今の漁況の状態から見ると豐漁は望まれそうもない、現在各濱の鯉魚獲高は五十餘

明大野球團

磐炭と對戦

明治大學野球團一行廿餘名來平廿五日午後二時から磐炭新グラウンドにて磐炭チームと對戦する筈だが入場料は卅錢と廿錢

急行列車の

食堂で亂暴

平署に引渡す

双葉郡幾世村 掃部廣恵(三)相馬郡原ノ町 鈴木三郎(三)の兩名は去る廿日上り急行列車が平驛に着する頃食堂内に於て泥酔し亂暴せる爲め降車せしめ平署に引渡した

平町人事

出生 鶴山安美二男三男
死亡 鈴木留雄(五) 矢内ヒサ(六)

は注意する事が肝要である、此分で冷氣が續きながら降雨でもあれば大變な事になる此場合の飼育は朝夕に適温即ち七十五度位の温度を保たせむべく保温設備をなす特別に冷氣にあはしめない様に注意せねばならぬ

木工 講演

昨日から開始

既報平町木工講習會は昨廿一日午前十時から平第一小學校に於て開會、瀧川本縣技手視察の爲め出席したが本月卅日迄引續き開講の筈であつて講師は東京高等工藝學校教諭森學邊雄、片桐同校囑託教諭の兩氏で森學

は注意する事が肝要である、此分で冷氣が續きながら降雨でもあれば大變な事になる此場合の飼育は朝夕に適温即ち七十五度位の温度を保たせむべく保温設備をなす特別に冷氣にあはしめない様に注意せねばならぬ

應用藝術としての家具の

進歩と本縣への希望

現今の家具の製造は如何

なるかに改良の餘地ありや、木材加工上知らねばならず、木材の性質を是れに對する注意、家具設計上の定寸に就て、家具並に室内の配色化上げは如何にすべきか、家具設計の仕方の要、木工場設備と木工機械の常識、家具の沿革の概要、現今の歐米殊に獨逸に於ける家具木工、本講習製作の品評會又は鏡技會

磐炭特設電話

石城郡内郷村磐城炭礦にては今回左記特設電話を設置した

△湯本特設一番 宮嶺業

は注意する事が肝要である、此分で冷氣が續きながら降雨でもあれば大變な事になる此場合の飼育は朝夕に適温即ち七十五度位の温度を保たせむべく保温設備をなす特別に冷氣にあはしめない様に注意せねばならぬ

は注意する事が肝要である、此分で冷氣が續きながら降雨でもあれば大變な事になる此場合の飼育は朝夕に適温即ち七十五度位の温度を保たせむべく保温設備をなす特別に冷氣にあはしめない様に注意せねばならぬ

は注意する事が肝要である、此分で冷氣が續きながら降雨でもあれば大變な事になる此場合の飼育は朝夕に適温即ち七十五度位の温度を保たせむべく保温設備をなす特別に冷氣にあはしめない様に注意せねばならぬ